

平成23年度第3回伊勢市環境審議会 概略

日 時:平成23年7月26日(火) 19:00~21:00

場 所:伊勢市役所東庁舎4階 4-3研修室

出席委員(五十音順):

天野委員、大西委員、岡委員、金田委員、川端委員、小久保委員、玉串委員、中川委員、中島委員、中村委員、朴会長、坂内委員、深草副会長、船谷委員、堀井委員、松月委員、山本委員

事務局:

白木環境生活部長、山村環境生活部参事、坂本環境課副参事、環境課環境政策係 中内、高橋

※【】内は議事録の該当頁

▼ 「エネルギーの地産地消」の目標・取組について(事務局説明)【2-6 頁】

- ・ 事前配布資料 “エネルギーの地産地消 骨子検討状況”
- ・ 当日配布資料 “目標設定の考え方”
について説明。

- 目標値 30%は、現行の電気総使用量に対する削減目標値である。但し、市民や事業者の方に説明する際の“理想像”あるいは“意気込み”という観点での数値である。
- 地産部門、地消部門についての取組内容の検討状況について紹介。

▼ ご意見、ご報告について(見出し)

- ・ 「エネルギーの地産地消」の趣旨説明について(ご意見)【7-8 頁、33 頁】
- ・ 目標値 30%について(ご意見)【9-11 頁、12-13 頁】
- ・ 市全体の電力消費量の公開について(ご意見)【16-17 頁】
- ・ 市の取組の進捗状況等について(ご報告)【17-20 頁、23 頁】
- ・ 生ごみのバイオガスについて(ご意見)【20-21 頁、23-25 頁】
- ・ メガソーラーについて(ご報告)【22-23 頁】

- ・ 風力発電の導入検討について(ご意見)【27-29 頁】
- ・ 間伐材利用による発電の検討について(ご意見)【29-30 頁】
- ・ 都市ガスの現状について(ご報告)【32 頁】
- ・ 波動による発電について(ご意見)【33 頁】

▼ 審議会としての考え方のまとめ

- ・ この“エネルギーの地産地消”は総花的なものでは困る。最初、総花的なところから収れんして“伊勢ならではの”の“実現可能性が高いもの”に特化した形にする。
- ・ “エネルギーの地産地消”の趣旨、あるいは哲学が、曖昧な形では困る。
- ・

▼ 次回

- ・ 8月 1-7 日の間に、ワーキンググループを開催。県職員、また庁内プロジェクトチームのメンバーが出席できるよう事務局にて調整する。
- ・ ワーキングでは、庁内の“地産地消”の庁内検討チームで話された資料・内容、また“エネルギーの地産地消”の哲学、また、根拠などを、委員の皆様に出れば事前提示をする。
- ・ 環境基本計画、新エネビジョン、鈴木市長のマニフェストなど、“エネルギーの地産地消”をまとめるうえで参考になる資料があれば提示する。
- ・ エネルギー消費量の内訳やどういう成立ちになっているかなどの数値も欲しい。

以上

議事録については、別添のとおり。